

# 羽尾の埋蔵金伝説

夜須町の羽尾に伝わる「不思議な埋蔵金伝説」。その真相を確かめるべく、源平争乱後に移建されたという真牧山長谷寺(まきでら)を訪ねました。

担当/広報編集委員 島村立法

## 長谷寺七不思議の一つ

取材した8月10日は、山門大施餓鬼会というお盆行事の日で、長谷寺には地元



の皆さんが訪れていました。小林玄徹住職(右写真)に長谷寺七不思議の案内文と、先代の住職池田宗石氏が書いた貴重な長谷寺資料誌の一説を見せてもらいました。古来より山脈には長者ヶ森があり、黄金の山とされ、長者伝説と歌が各地に多く残っているそうです。

「朝日さす夕日かがやく、とまわ木の下に黄金一貫目」  
(長谷寺資料誌より)



長谷寺七不思議については、ぜひここに来て見聞させられることをお勧めします。

## 「わからないのが魅力」

この日、地元の人に聞くと「昔は人が集まったら誰かが羽尾のどこかに宝物が埋まっているらしい」と話をすると皆笑って「そりゃ嘘じゃろう」とその程度で話が終わったそうです。石のお堂の跡に穴を掘った跡があったとか、「今はそんな話をする人もおらんようになった」と清藤道徳さん(82歳)は言います。また、谷岡喜輝さん(78歳)は小学2年のころに曾祖父から聞いたことがあって「朝日が射す所は山の上の方じゃが…誰もわからん」。

何やらこの伝説は、宝の所在がわからないのが魅力のようです。

## 丑年の娘が見つける？

先代の住職の池田宗石氏は、長谷寺や羽尾に関する歴史を熱心に調べ、住民と歩き語っていたそうです。また、ロマンに彩られた一説に「丑年に丑年の娘が見つける」という話もあり、興味深い不思議な話もあります。

山と神社、仏閣は今も深い信仰とつながり、山を荒さず大切にすることを秘められています。時に古人は、いつも長者伝説を語り、伝え、宝の山に居ながら真実の悟りの心を忘れた人々に身心を労して「掘り出してはいけない」と説いているかのようです。

## 神秘的な羽尾へ

このわくわくするような埋蔵金伝説に思いを馳せ、展望台に立つと山々はまるで行基が開いた神秘的な仏法の行場に見えてきます。山に住み、寺を守り、後世に伝えたかった人々の思いが羽尾には今も息づいているのでしよう。

皆さんも羽尾の伝説ロマンを体感してみたいと思いませんか。

### 問い合わせ

香南市夜須町羽尾 長谷寺  
☎55-1937

羽尾埋蔵金劇場



## みんなの広場

僕たち「上夜須子ども会」は、8月5日(日)に夜須川で、竹を使ったイカダ遊びや、そうめん流しをして遊びました。前日、イカダとそうめん流し用の竹を大人の人が切り出し、汗まみれになって作ってくれました。待ちに待った当日、子ども約20人は夜須川に浮かんだイカダ目掛けてダーツシュ。定員オーバーで沈んでいくイカダに「落ちるものか」と必死にしがみつきました。

また、そうめん流しでは、お椀いっぱいのおそうめんに大満足。締めくくりのスイカ割りでは、「あっち!こっち!」の大声援に戸惑いながらもスカッと割れたスイカをおいしく食べました。

初めての夏の体験行事でしたが、みんな笑顔いっぱい、「来年もまたやろう」と言っていました。自然いっぱいの上夜須が大好きになった一日でした。大人の私たち、ありがとう。

ペンネーム 上夜須の少年



### 《広報へのメール》

kounou@city.kochi-tokonan.lg.jp  
《香南市のホームページ》  
http://www.city.kochi-konan.lg.jp

# 朝日さす夕日かがやく… 謎の伝説とは



展望台から野市町方面を望む



展望所 そらこや